

幼小連携にかかる区立幼稚園のあり方について

幼小連携の主導的役割の発揮  
に関する基本的な方針等

1 基本的な方針

国

- 小学校以降との円滑な接続を図るため、域内の小学校と幼児教育施設等をつなぐ結節点となり、幼稚園と小学校の連携を主導する役割を担う必要がある。

区

- 区は、幼保小の連携について、令和5年9月に「練馬区幼保小連携推進方針」を策定
- さらに、本方針に基づく実践のために令和6年3月に「ねりま幼保小の架け橋期プログラム」を作成

2 現状の取組（※）

※「練馬区幼保小連携推進方針（令和5年9月）」より抜粋

取組項目	取組内容
職員に対する研修会	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>幼保小連携推進研修会</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼児教育・保育と小学校教育の連続性の相互理解</li><li>・ 練馬区の幼保小連携の方向性の共通理解</li><li>・ 参加者による意見交換</li></ul></li><li>○ <b>幼児教育研修会</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼稚園研究保育、実技研修</li></ul></li></ul>
施設における各事業	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>懇談会</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 教員による情報交換、指導や援助に関する相互理解</li><li>・ 幼児教育と小学校教育の理解深化</li><li>・ 小学校授業参観および交流</li></ul></li><li>○ <b>園児、児童の交流活動</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 遊びや授業見学等による交流</li></ul></li></ul>
各施設への情報共有	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>幼保小連携情報の共有</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 交流連携事例等を各施設へ提供</li></ul></li><li>○ <b>小学校行事一覧等の配布</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学校の行事日一覧や地区割を各施設へ配布</li></ul></li></ul>

現状の課題および今後の区立園のあり方（案）

3 取組における課題（※）

※「練馬区幼保小連携推進方針（令和5年9月）」より抜粋

- **連携等の取組の実施項目が限定的**
  - ・ （最多取組）園児・児童の状況の情報交換 ⇨ 216園中78園（36%）
  - ・ 幼児教育・小学校教育の教育内容等に関する連携 ⇨ 216園中28園（13%）
  - ・ 小学校と協働し5歳児の指導計画等を作成 ⇨ 216園中2園（1%）
- **連携の取組がなく、かつ、未計画の幼保施設が3割超**
  - ・ 園児と児童の交流活動の未実施未計画 ⇨ 216園中88園（41%）
  - ・ 幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の未実施未計画 ⇨ 216園中87施設（40%）
- **教育委員会に対し、連携機会の設定を求める声が多数**
  - ・ 懇談会等の交流の場の回数の増 ⇨ 216園中95園（44%）
  - ・ 保育現場の体験、意見交換機会の設定 ⇨ 216園中92園（43%）
  - ・ 小学校の授業参観、意見交換機会の設定 ⇨ 216園中100園（46%）

4 課題を踏まえた区立園の今後のあり方（案）

① 幼児教育施設としての実践手本

**幼小連携を主導する立場**から、**架け橋期プログラムの着実な実践**を行うほか、教育委員会と協働して**幼小連携を行う幼児教育施設の増**に取り組む。

② 連携ノウハウの共有・提供

実践する幼小連携の取組について、**年間の計画や実際の連携内容を区内私立幼稚園へ提供**し、連携内容・**連携ノウハウの共有**を行う。

③ 教育委員会と協働した連携推進

教育委員会が実施する**研修会・懇談会の運営に主体として携わり**、協働して研修会・懇談会の**充実を図る**。